

田んぼに植えられた早苗と、青空や雲、周りの山々や夕日が水面に映るこの時期限定の風景を楽しみたいと思います。

◆神宮の大学野球

久しぶりに神宮球場で大学野球を観戦しようと思いつきながら、この春はまだ実現できていません。爽やかな風に吹かれてスタンドに座ると、ゆったりとした気分が心地よく、まことに至福の時間を経験できるのです。

東京六大学では連敗続きの東大が法大を破って4年半ぶりに白星。東都では昇格したばかりの専大が26年ぶりに優勝しました。

6月8日には全国26連盟の代表校によって大学野球選手権が始まります。地方の大学で切磋琢磨する選手が「打倒六大学・東都」を合言葉に出場する大会なので、大学野球ファンには見逃せません。結構おすすすめです。

(館長 高橋良一)

◆珈琲茶話

コーヒー好きの自分には嬉しい本を読んだ。『1日3杯のコーヒーが人を健康にする!』そうだ。日本に珈琲が入ってきたのは江戸時代という。そもそも珈琲は古来より薬として珍重されていた。ある時代には珈琲は体に悪いと言われてきた。しかし現代の最新の研究で珈琲のパワーが見直されつつある。

珈琲といえば、カフェインをイメージする。そのカフェインとクロロゲン酸、ニコチン酸が脂肪の燃焼パワーとなるらしい。「とくほ

でも注目されているという。運動と組み合わせれば、さらに脂肪燃焼効果は高まるらしい。また、珈琲を飲む人は、心臓病、糖尿病による死亡率、肝臓がん、前立腺がん、子宮がん発症リスクが低いという。さらに、認知症予防効果もあるらしい。長寿ホルモンであるア

ディポネクチンを増やす効果までもあり、ここまで来るとコーヒーは飲まない損をするといえる。

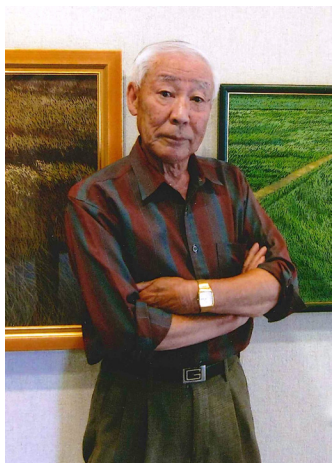
「ココナッツオイルを珈琲に入れて飲めば効果が大きいな」と家でつぶやくと、「あまり効果がでてないみたい」の一言。

(岡西英孝)

◆田園・風

6月は南魚沼市在住の山本安雄さんの個展「山本安雄展―田園・風―」を開催します。

山本安雄さんは自宅の裏に広がる田園を描いてきました。その作品は単に田舎の風景を描くものではありません。風になびく青い稲や、秋に風雨で倒れた稲を細い面相筆を使って一本一本、丁寧に描きます。風にざわめく音が聞こえてくるようです。稲が表情豊かに動き



山本安雄氏 (作品の前で、2013年)

だし、絵の主役となるのです。山本さんが稲を画題に選んでから20年以上がたつそうです。最近の作品は、画面を分割し、一枚の絵に夏から秋へ、移り変わる季節が描かれています。80歳を超えた現在でも常に新しい工夫を凝らし、百号2枚組の大作を国立新美術館で開催される一陽展に出品しています。

当館で前回個展を開催したのは2009年になります。その後制作した作品を中心に、約40点を展示します。ぜひご覧ください。

(広田かおり)

◆いけばカフェ

美術館のエントランスホールの一角にいけばふれあいカフェがあります。ご存じの方も多いかと思いますが、公園に向かって一面のガラス張り、とても景色の良いカフェです。

先日、遠方からのお客様に「とにかく景色が素晴らしいね。本当にここに来ると心が癒されるよ。良い所ですね」と声をかけていただきました。目の前にそびえ立つ八海山も日に日に残雪が少なくなってきた、緑が映える季節となってきました。池のアヒルや鯉も気持ちよさそうに泳いでいます。

美術館の喫茶は敷居が高そうで……いえいえ、全くそのようなことはありません(笑)。ふらつと立ち寄ってみて下さい。喫茶は入館料はいただいておりませんので。八雲がこよなく愛したおすすすめのラフカディオ珈琲、宇治茶100%のお抹茶、地元ヤマミさんのジェラート、ハックルベリーさんのクッキーなどご用意して、皆様のお越しをお待ちしております。テイクアウトもできますよ。

(山口加奈子)

◆一箱古本市

6月12日(金)から28日(日)までエントランスホールで一箱古本市を開催します。まだ馴染みのないイベントですが、2005年

から東京の谷中、根津、千駄木で行われている「不忍ブックストリート」の一箱古本市を参考にして企画した本のフリーマーケットです。当館では初めての開催になります。約30名の出店者がセレクトした古本をワインの木箱に詰めて販売します。木箱の一部は、ご近所の越後ワイナリーさんからお借りしました。楽しい本や珍しい本、まんが本など個性豊かな一箱が並びます。美術館スタッフも出店いたします。

また、ご来場のお客様の投票で優れた一箱を決定します。普段、自分では手にしないような新しい一冊との出会いや、ゆったりと本と遊ぶ時間をお楽しみください。

(佐藤良子)

◆巨星墜つ

彫刻家・野上公平先生が、5月9日、80歳で亡くなられました。喪主・野上嘉子夫人の挨拶状を拝見して、胸安らぐ思いでした。

「信じる道をまっすぐ歩み通した生涯でした」と書かれたその文面には、足跡がキツチリと残された満足のいく人生であったことがつづられておりました。巨星墜つのでした。二科会の重鎮、また新潟県美術家連盟の理事長職も務められました。

今年の2月から3月にかけて、当館で芸術活動の伝承、啓蒙、普及を目的とした『魚沼発』22世紀への伝言板 美の先覚者たち」展に出展いただきました。『作品はその人の生き方の中から生まれる。よい作品を作るには、常に自分を見つめ、前を見、世界に目を広げ、再び己を省みる態度と、信頼できる真の友人を持つことが大切だ。豊かな人との繋がりがあって、更に人生観が広がり、困難に打ち克つ力が生まれて自然に創作意欲が湧いてくる』と強いメッセージを残してくれました。ダンディな人でもありました。合掌。

(顧問 佐藤吉昭)

山本安雄先生の個展に寄せて

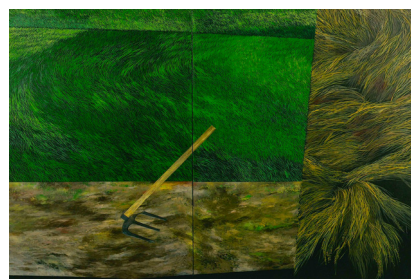
高橋貞良

このたび、第40回目の個展開催おめでとうございます。半世紀余りにわたり個展を重ねられたことは、山本先生ご自身の並々ならぬご努力もごさいましようが、何よりご家族様のご理解とご協力のたまものと思われまふ。

ここ20数年来、先生は田園風景の稲穂を主体に描いておられ、最近作では一枚の絵の中で稲穂の生い立ちを表現され、四季を色鮮やかに捉えておられます。

先生の作品は、物語のように人生の生涯を田園風景の稲穂の中で表現されておられるのではないかと感じます。

また、私の知る限りでは、以前は魚を入れる箱など他のテーマで作品を描かれていたと思いますが、田園風景の中の稲穂というテーマを一つに絞り追求され、数多くの作品を描くことも大切なことと教えていただきました。県内はもとより、魚沼の地の美術界の先覚者として、私たち後輩をご指導いただいたことにより、地域や県内そして中央で活動できますことに感謝申し上げます。



山本安雄「田園」

今回の個展を機に健康にご留意いただき、更に躍進されますことを、いなほの会一同心よりご祈念申し上げます。
(いなほの会)

池田記念美術館 展覧会&イベント情報

■第40回記念 山本安雄展—田園・風—

◎1階企画展示室・多目的ホール ◎期間：6月5日(金)～6月30日(火)

1967年に六日町で第1回個展を開催以来、今回が記念すべき40回目の個展となります。田園をモチーフにして20数年。季節の移ろいから見えてくる田園の表情と、人の歩みをだぶらせ、飽くなき制作を続けている作家が100号と200号の大作を中心に展示します。現在、一陽会会員、日本美術家連盟会員(元理事)、県美術家連盟会員、南魚美術協会顧問。

■自作を語る会 ①6月6日(土)16:00～ ②6月21日(日)14:00～

山本安雄氏が作品についてテーマや思いなどを語ります。※入館料が必要です。

■庭野泰明—染めの世界展—

◎1階企画展示室・多目的ホール ◎期間：7月3日(金)～7月28日(火)

十日町市在住で染色家として50年を迎える作家の集大成となる展覧会。芸展や県展出品の作品のほか、地元の風景を題材にした染め絵や着物など代表作を展示します。



庭野泰明「悠久の遺跡」

■一箱古本市 @ 池田記念美術館

◎1階エントランスホール ◎期間：6月12日(金)～6月28日(日) ※最終日15時終了

美術館のエントランスホールを舞台に古本市を開催。約30人の参加者が一人一箱のワイン箱に書店名をつけて古本を販売します。それぞれの箱には店主が選び抜いた本が並びます。美術館の職員も出店しますよ。お客様にはセルフサービスでお買い物をしていただきますので、お気に入りの本があったら、料金箱に代金を入れてお持ち帰りください。また、期間中、各箱に表現された「宇宙(世界観)」の中から気に入った箱に対してお客様から投票していただき、最高得票者に「一箱宇宙賞」を贈呈。賞品は六日町駅前の喫茶店「アトモスカフェ」で1か月間、自分の図書館を開く権利(販売可)です。※エントランスホールは入場無料。



ワイン箱を使った出店例

◎他の展示・イベント

■スポーツカード展示室・ベースボールカードに見る「温故知新」

◎2階スポーツカード展示室 ◎期間：4月18日(土)～10月中旬予定

「2015ルーキーエディション」「ヒストリックコレクション2015～思い出のユニフォーム～」プロ野球80周年カード 投手編/打者編などを展示します。新規カードも続々、追加します!

■池田音楽クラブ「音を楽しむ集い」

6月14日(日)11:30～ フルートとピアノ(当日は公園でグルメマラソンもありますよ!)

6月28日(日)14:00～ フォークソングの日

お待たせしました!

「スポーツウェアの販売開始」

待ちに待ったウェアが到着しました!



池田記念美術館 南魚沼市浦佐5493-3 (八色の森公園内)
TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815
【開館時間】9:00～17:00 (入館受付は16:30まで)
【入館料】一般 500円 高校生以下無料
【ホームページ】http://www.ikedart.jp

【6月の休館日】

※水曜日(3日、10日、17日、24日)
※2日(火)は田中守展最終日のため15時閉館です
※4日(木)は展示替えのため臨時休館です
※30日(火)は山本安雄展最終日のため15時閉館です